

2017年度第3四半期実績の概要

2018年1月31日

株式会社 三井住友フィナンシャルグループ^o

本資料には、当社グループの財政状態及び経営成績に関する当社グループ及びグループ各社経営陣の見解、判断または現在の予想に基づく、「将来の業績に関する記述」が含まれております。多くの場合、この記述には、「予想」、「予測」、「期待」、「意図」、「計画」、「可能性」やこれらの類義語が含まれますが、この限りではありません。また、これらの記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであり、実際の業績は、本資料に含まれるもしくは、含まれるとみなされる「将来の業績に関する記述」で示されたものと異なる可能性があります。実際の業績に影響を与えるリスクや不確実性としては、以下のようなものがあります。国内外の経済金融環境の悪化、保有株式に係るリスク、不良債権残高及び与信関係費用の増加、当社グループのビジネス戦略が奏功しないリスク、合併事業・提携・出資・買収及び経営統合が奏功しないリスク、海外における業務拡大が奏功しないリスクなどです。こうしたリスク及び不確実性に照らし、本資料公表日現在における「将来の業績に関する記述」を過度に信頼すべきではありません。当社グループは、いかなる「将来の業績に関する記述」について、更新や改訂をする義務を負いません。当社グループの財政状態及び経営成績や投資者の投資判断に重要な影響を及ぼす可能性がある事項については、本資料のほか、有価証券報告書等の本邦開示書類や、当社が米国証券取引委員会に提出したForm 20-F等の米国開示書類、当社グループが公表いたしました各種開示資料のうち、最新のものをご参照ください。

本資料における計数、表記の定義

- 連結：三井住友フィナンシャルグループ連結
- 単体：三井住友銀行単体
- 親会社株主純利益：親会社株主に帰属する当期純利益
- SMFG：三井住友フィナンシャルグループ
- SMBC：三井住友銀行
- SMBC信託：SMBC信託銀行
- SMFL：三井住友ファイナンス&リース
- SMBC日興：SMBC日興証券
- SMBCフレンド：SMBCフレンド証券
- SMCC：三井住友カード
- SMCCF：SMBCコンシューマーファイナンス
- SMAM：三井住友アセットマネジメント

2017年度第3四半期業績（累計）の概要

- リテール及び国際事業部門がトップラインを牽引。SMBCにおける与信関係費用の大口の戻り・株式等損益の増加もあり、親会社株主純利益は6,481億円と前年比1,034億円の増益
- 現時点で大幅な業績の下振れとなるような特段のリスクファクターは想定していないものの、業務環境が変化する可能性も考慮し、年度予想6,300億円は修正せず
- バーゼルⅢ最終化の影響は、現在精査中。合意の内容を踏まえた新たな資本政策は、5月に発表予定

(億円)	17年度 4-12月	前年同期比	17年度 目標
連結業務純益	9,304	+831	11,300
親会社株主純利益	6,481	+1,034	6,300
与信関係費用（連結）	▲519	△161	▲2,100
（単体）	（戻り）△352	△328	▲800

1株当たり情報(連結)

(円/株)	17年度 4-12月	前年同期比	17年度 目標
親会社株主純利益	459.53	+61.15	446.64

(円/株)	17/12月末	17/3月末比
純資産	7,485.80	+584.13

中期経営計画の財務目標の進捗

		16年度	17年度 4-12月	19年度 目標
資本効率	ROE	7.8%*1	10.3%*2	7~8% 程度
経費効率	経費率	62.1%	60.3%	16年度比 1%程度低下

格付

	Moody's	S&P	Fitch	R&I	JCR
SMFG	A1/P-1	A-/ -	A/F1	A+/-	AA-/ -
SMBC	A1/P-1	A/A-1	A/F1	AA-/a-1+	AA/J-1+

*1 連結納税導入による影響等特殊要因を除いたもの *2 年率換算 *3 自己資本（バーゼルⅢ現行規制基準）の開示は2月半ばを予定

2017年度第3四半期業績のサマリー

P/L

	(億円)			17年度 目標	
	17年度 中間期	17年度 4-12月	前年 同期比		
連結	連結粗利益	14,658	22,421	+683	
	営業経費 (経費率)	▲8,946 (61.0%)	▲13,518 (60.3%)	▲66 (△1.6%)	
	持分法投資損益	302	401	+214	
	連結業務純益*1	6,013	9,304	+831	11,300
	与信関係費用	▲341	▲519	△161	▲2,100
	株式等損益	515	890	+472	
	経常利益	6,155	9,595	+1,462	9,700
	親会社株主純利益	4,202	6,481	+1,034	6,300
ROE	10.1%	10.3%	+0.8%		
単体	業務粗利益	7,091	10,623	▲2,114 ^{*2}	
	経費*3	▲4,038	▲6,065	△102	
	業務純益*1	3,053	4,559	▲2,012	6,100
	与信関係費用	△255	△352	△328	▲800
	経常利益	3,685	5,581	▲1,163	5,800
	当期純利益	2,845	4,327	▲1,105	4,500

連結粗利益：SMBC日興での運用商品販売やクレジットカードビジネスが好調であったこと、海外ビジネスが堅調であったこと等から増益

営業経費：SMBC日興やSMCCのトップライン増益に伴い増加。引続き、グループベースでの経費コントロールを強化

株式等損益：政策保有株式の売却益が増加

SMBC以外の主要グループ会社の親会社株主純利益寄与*4

(億円)	17年度 4-12月	前年 同期比	(億円)	17年度 4-12月	前年 同期比
SMBC日興*5	480	+230	SMCC	110	+0
SMBCCF	420	▲40	SMAM	20	+10
SMFL	280	+40	SMBC信託	▲50	+70
セディナ	170	▲60			

● 国内預貸金利回差（単体）

(%)	17年度 4-12月	前年 同期比	4-6月	7-9月	10-12月
貸出金利回	0.98	▲0.08	0.99	0.98	0.98
預金等利回	0.00	▲0.01	0.00	0.00	0.00
預貸金利回差	0.98	▲0.07	0.99	0.98	0.98

(参考) 政府等向け貸出金控除後

(%)	17年度 4-12月	前年 同期比	4-6月	7-9月	10-12月
貸出金利回	1.02	▲0.10	1.04	1.02	1.01
預貸金利回差	1.02	▲0.09	1.04	1.02	1.01

● 政策保有株式の削減（簿価）

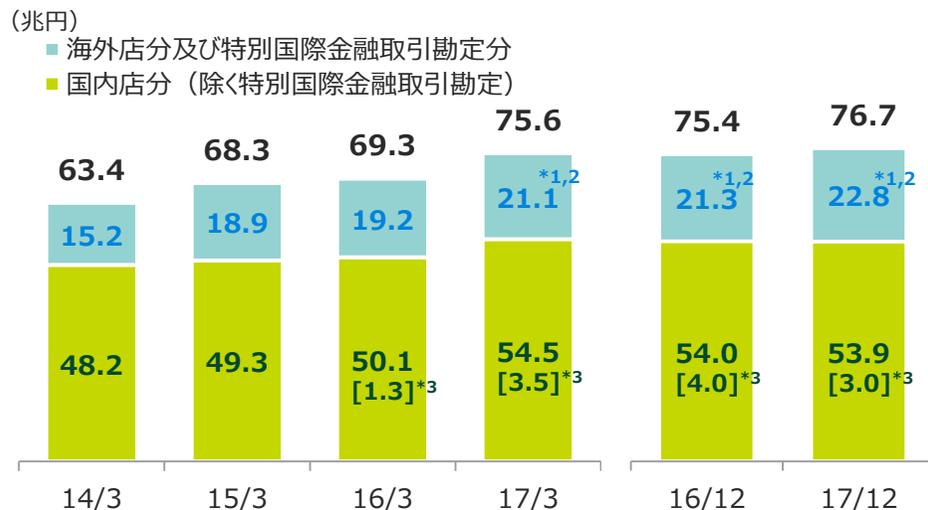
- 2017年4-12月の削減実績 : 約650億円
- 2017年12月末の未売却の売却応諾残高 : 約1,050億円

*1 一般貸倒引当金繰入前 *2 うち、前年のSMBC日興からのSMFG直接子会社化に伴う配当（2,000億円）の剥落を含む *3 臨時処理分を除く

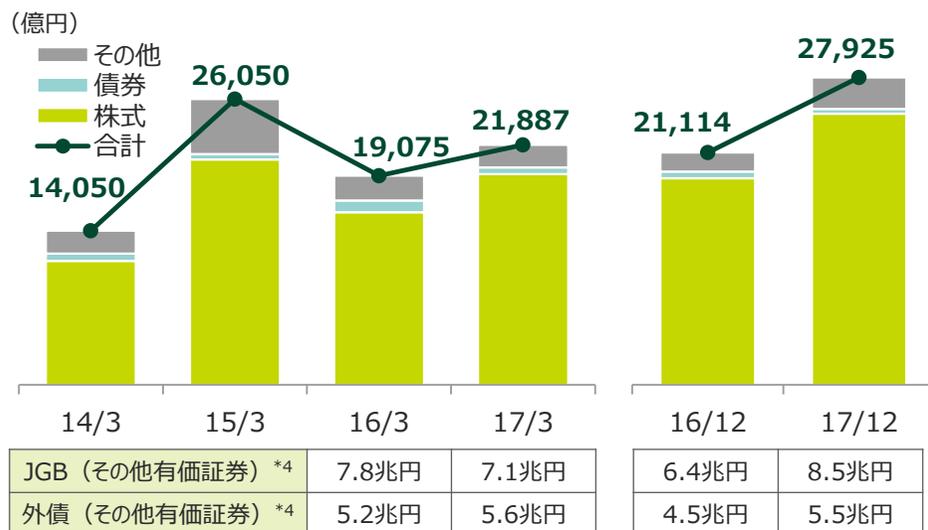
*4 概数 *5 SMBC日興の海外持分法適用関連会社（SMFGの連結子会社）の利益を含まない

主要項目の時系列推移

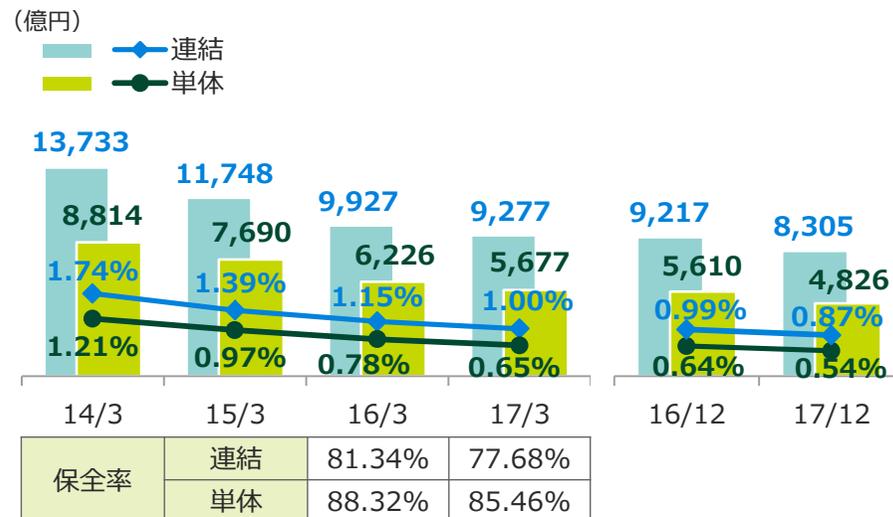
貸出金残高 (単体)



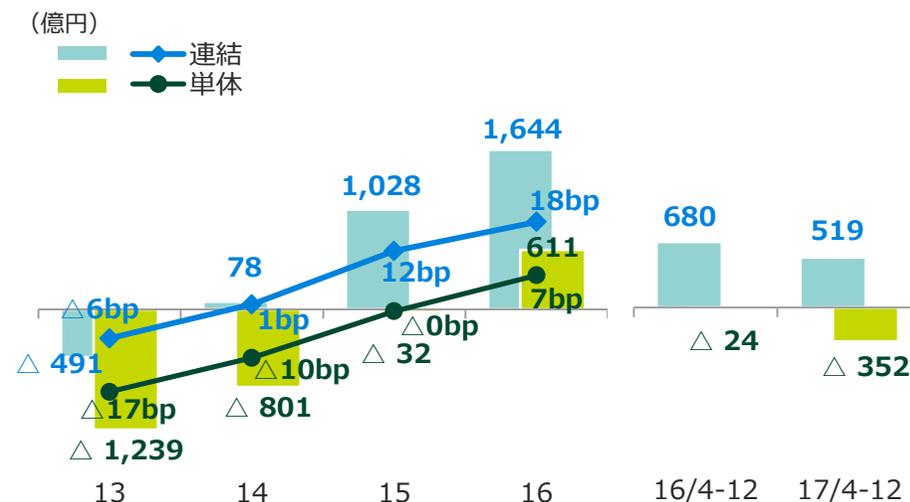
その他有価証券評価損益 (連結)



不良債権残高及び同比率*5



与信関係費用及び同比率*6



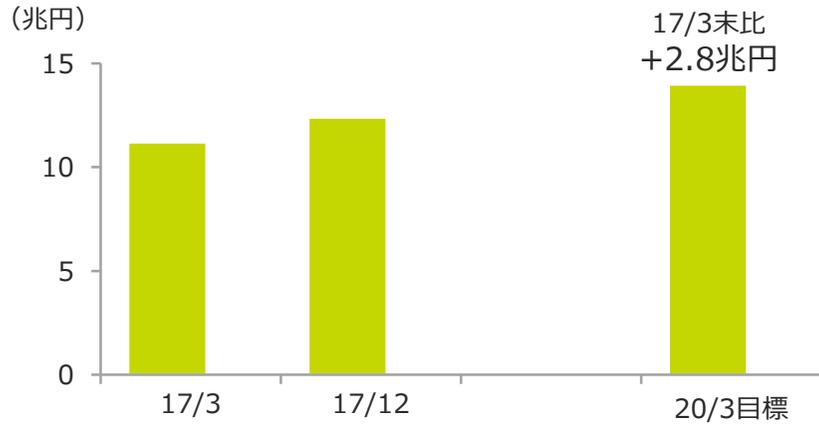
*1 各月末TTM 16/12月末: 116.49円/ドル、122.68円/ユーロ 17/3月末: 112.19円/ドル、119.84円/ユーロ 17/12月末: 113.00円/ドル、134.99円/ユーロ

*2 カナダ支店 (16/11月に営業開始し、全額出資現法子会社のカナダ三井住友銀行から業務を引継) の残高を含む *3 うち政府等・SMFG向け *4 単体、貸借対照表計上額

*5 不良債権比率 = 金融再生法開示債権残高 (除く正常債権) / 総与信 *6 与信関係費用比率 = 与信関係費用 / 総与信

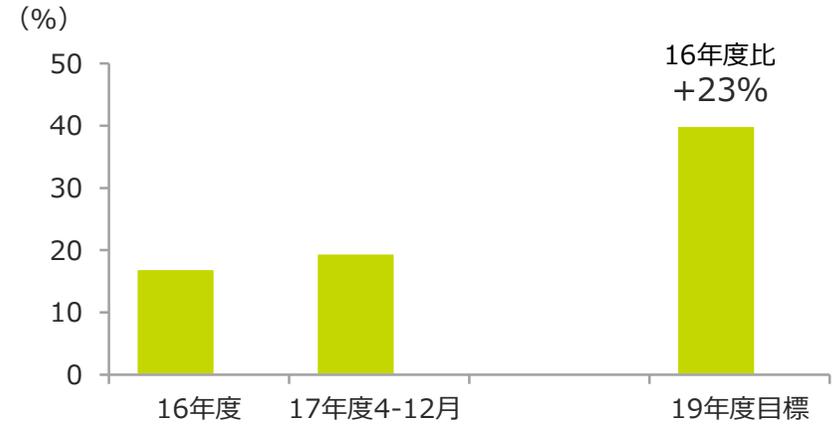
資産管理型運用ビジネス

ストック収益資産残高 (SMBC+SMBC日興)



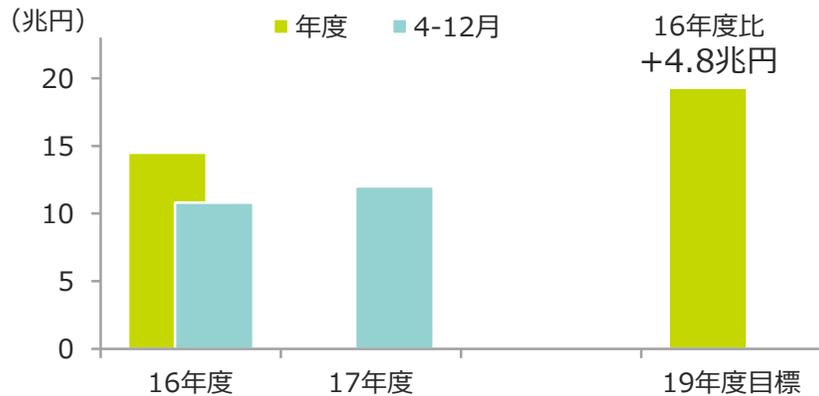
デジタル化

デジタルチャネル利用率 (SMBC) *2



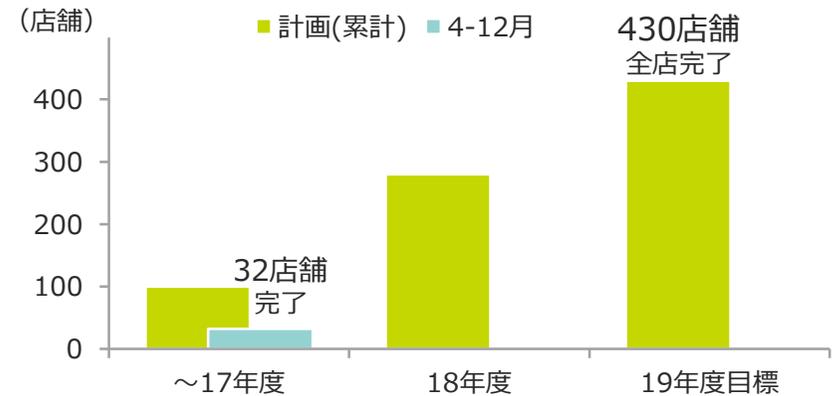
決済ビジネス

クレジットカード買物取扱高 (SMCC+セディナ) *1



店舗改革

次世代店舗の導入

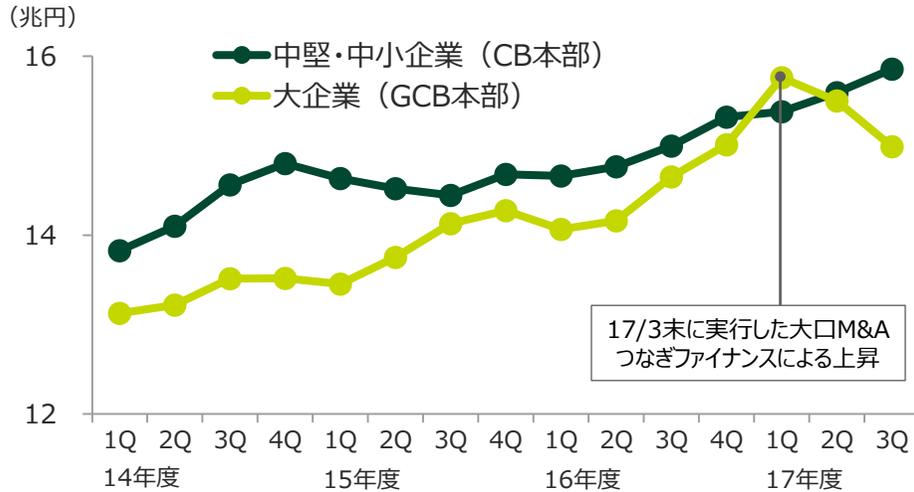


*1 クレジットカード及びデビットカードでの買物取扱高

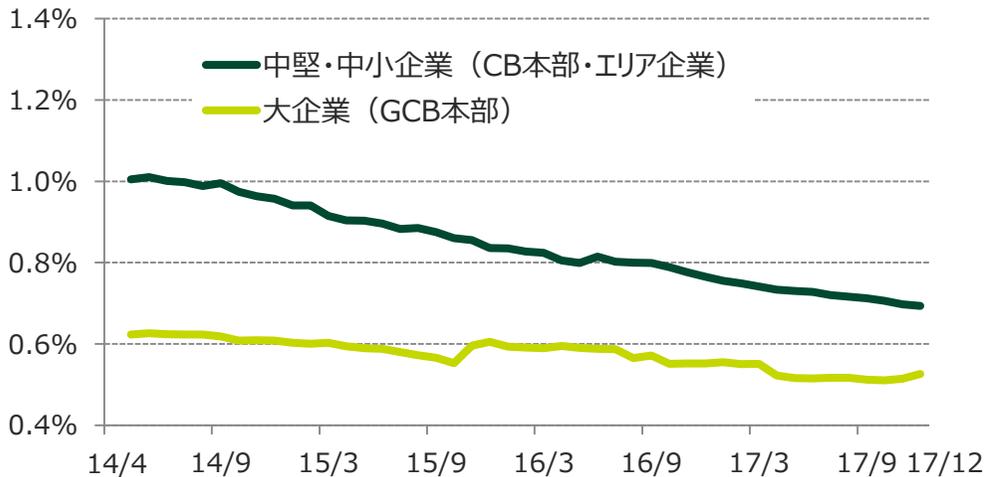
*2 デジタル利用顧客 / (店頭利用顧客 + デジタル利用顧客)

ホールセールビジネス

ホールセール部門貸出金残高 (単体) *1,2

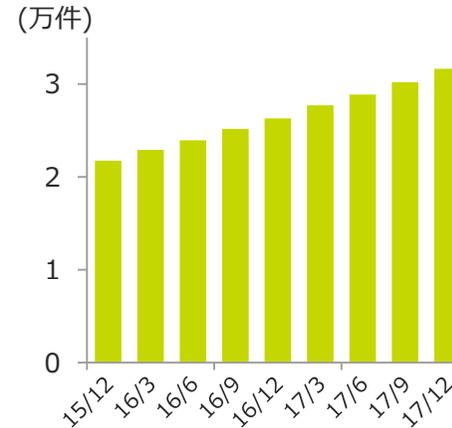


国内法人向け貸出金スプレッド (単体) *1,3

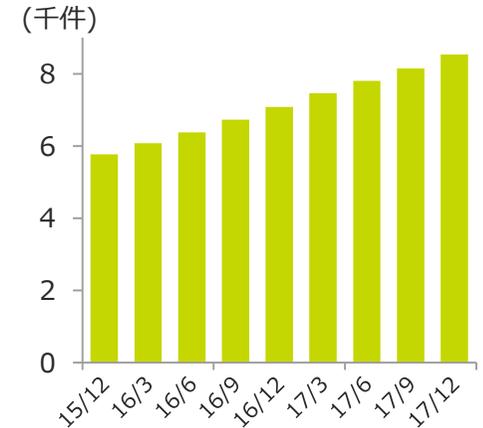


銀証連携 (法人)

運用業務 (累積件数)



投資銀行業務 (累積件数)



リーグテーブル (17年4月-12月) *4

	順位	シェア
株式関連 (ブックランナー、引受金額) *5	5位	8.6%
円債総合 (主幹事、引受金額) *6	4位	16.9%
国内事業債 (主幹事、引受金額)	4位	16.1%
IPO (主幹事、案件数) *7	4位	14.8%
ファイナンシャル・アドバイザー (M&A、案件数) *8	1位	5.6%
ファイナンシャル・アドバイザー (M&A、取引金額) *8	5位	9.1%

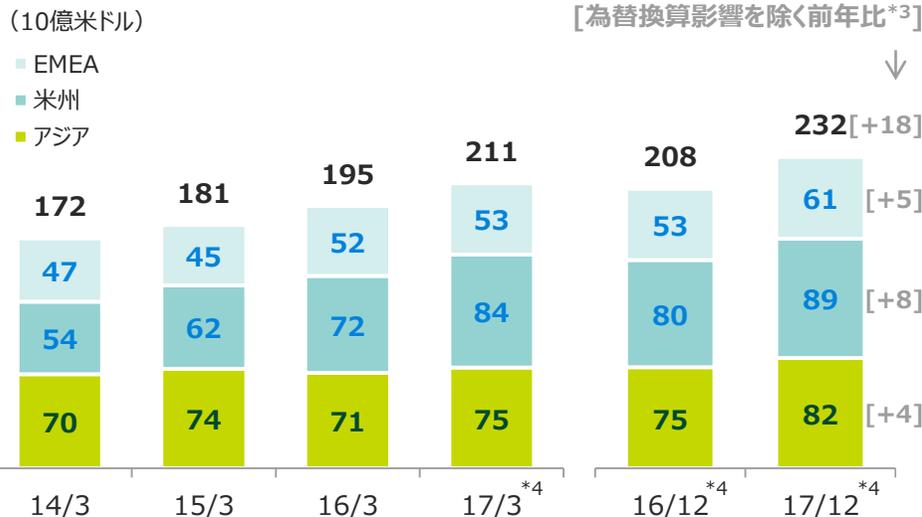
*1 内部管理ベース。政府等向けを除く *2 四半期平残 *3 月次、ストックベース

*4 株式関連、円債総合はSMBC日興、ファイナンシャル・アドバイザー、IPOはSMFG。出所：トムソンロイターの情報を基にSMBC日興が作成 *5 日本企業関連、海外拠点を含む

*6 事業債、財投機関債・地方債 (主幹事方式)、サムライ債 *7 REITのIPOを除く、海外拠点を含む *8 日本企業関連公表案件、グループ合算

海外ビジネス

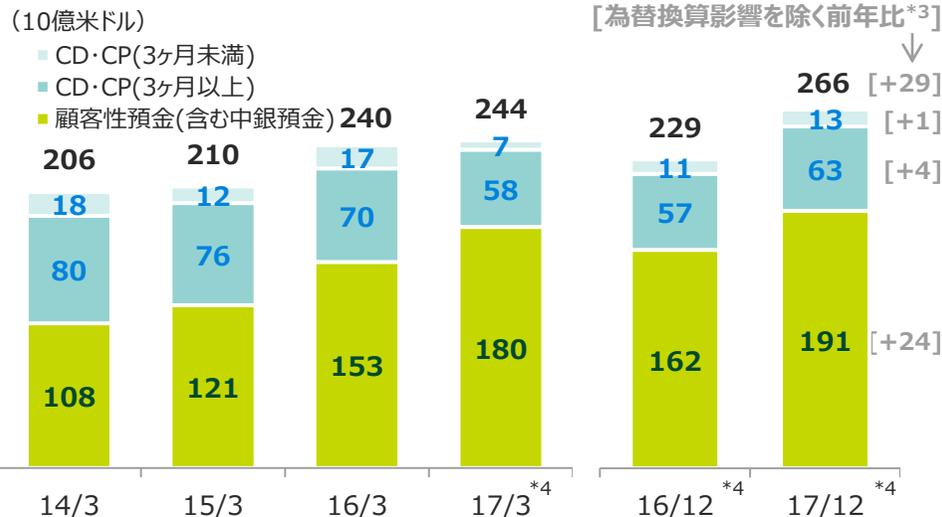
海外貸出金残高*1,2



海外貸出金スプレッド*1, 5



海外預金等残高*1,2



外貨建債券発行残高*6 (10億米ドル)	シニア		劣後	
	18/1	32.9	44.1	40.7
17/12	4.1	4.1	4.0	4.1

外貨建債券の主な発行 (18/1月以降、海外市場、機関投資家向け)

シニア/劣後	発行日	通貨	発行額(百万)	年限	利率
シニア (SMFG) *7	18/1/17	USD	1,500	5年	3.102%
			500	5年	3mL+74bp
			750	10年	3.544%
シニア (SMBC)	18/1/17	USD	1,250	2年	2.514%
			750	2年	3mL+35bp

プロジェクトファイナンス



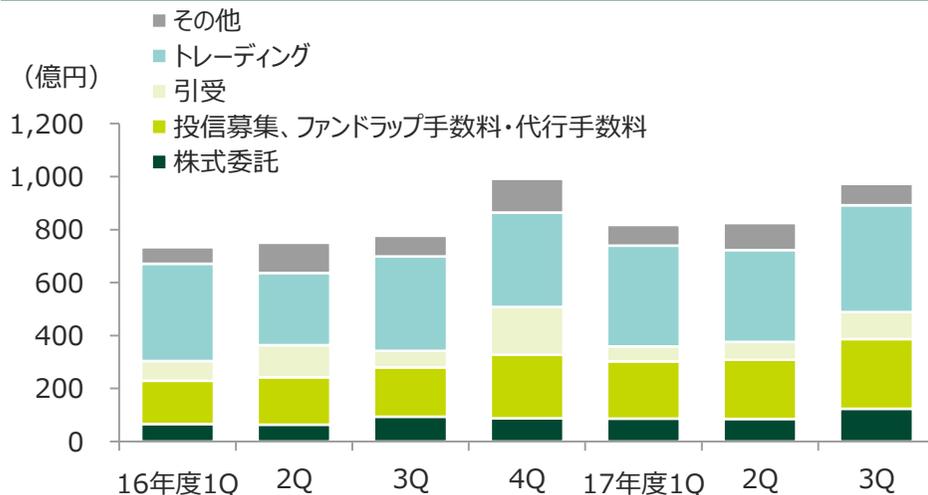
- トムソンロイター社発行の“Project Finance International”にて、SMBCが2017年の“Global Bank of the Year”に選出 (2008年、2012年、2014年に続く4度目の受賞)

*1 内部管理ベース。SMBC、欧州三井住友銀行及び三井住友銀行(中国)の合算 *2 各期末実績レートにて換算 *3 各現地通貨の対米ドル為替換算影響を除く前年比
*4 カナダ支店(16/11月に営業開始し、全額出資現法子会社のカナダ三井住友銀行から業務を引継)の残高を含む *5 月次、ストックベース *6 SMFG及びSMBCの発行分
*7 TLAC債

業績（連結）

(億円)	16年度	17年度 4-12月	前年 同期比
純営業収益	3,267	2,625	+354
販売費・一般管理費	▲2,509	▲1,930	▲119
経常利益*1	800	724	+238
親会社株主純利益*1, 2	469	495	+232

純営業収益*3



*1 SMBC日興の海外持分法適用関連会社（SMFGの連結子会社）の利益等を含む

*2 バークレイズとの提携事業再編清算金120億円を16年度下期に特別損失に計上 *3 17年度より、ファンドラップ手数料をその他からファンドラップ手数料・代行手数料へ組替え（16年度も遡及変更）

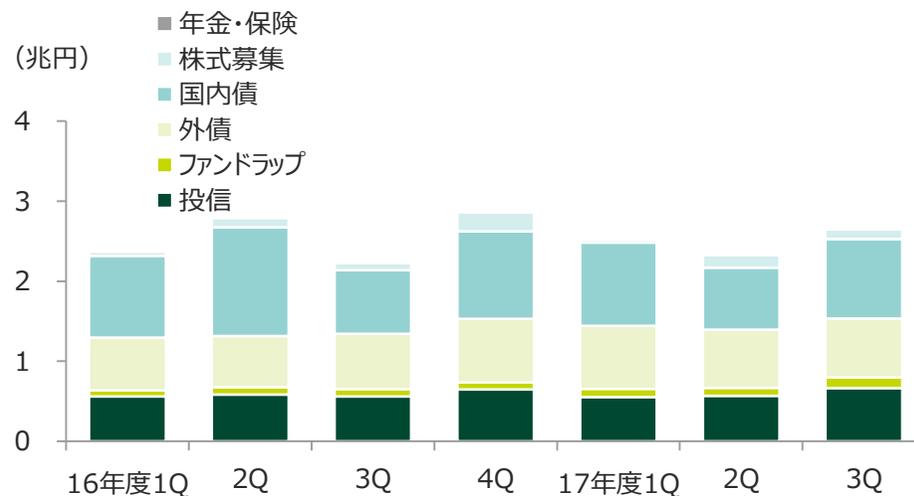
*4 17年度より、ファンドラップ販売額を商品販売額に含めて集計

*5 内部管理ベース。下記海外4拠点の合計値

・ SMBC日興の連結子会社であるSMBC日興セキュリティーズ(香港)及びSMBC日興セキュリティーズ(シンガポール)の収支

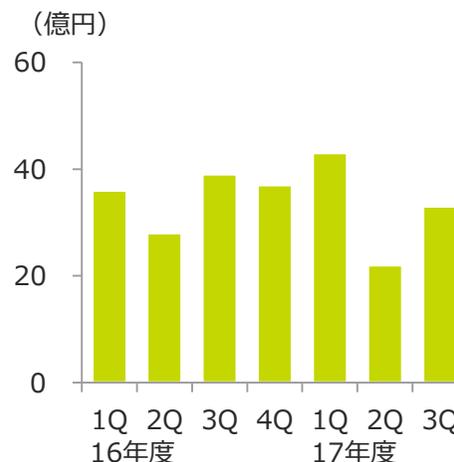
・ SMBC日興の持分法適用関連会社である英国SMBC日興キャピタル・マーケット会社のうち証券業務に係る収支及びSMBC日興セキュリティーズ・アメリカ会社の収支

商品販売額*4



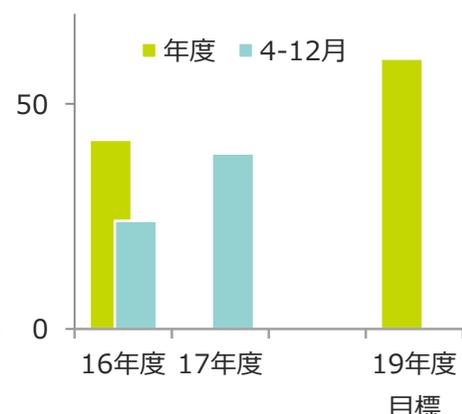
国際ビジネス

海外拠点の収支*5



証券アクティブブックランナー

(件) (除く当社グループ発行案件)



業績（連結）

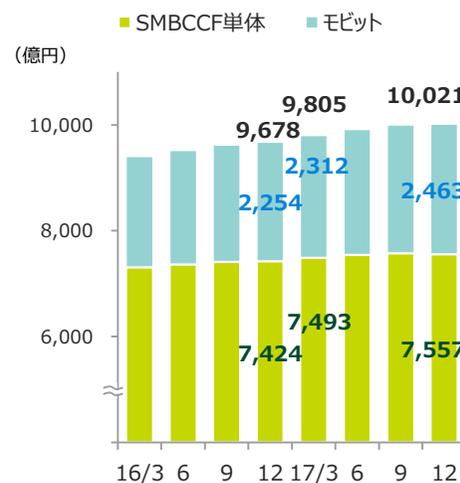
(億円)	16年度	17年度 4-12月	前年 同期比
営業収益	2,588	2,060	+130
営業費用	▲1,916	▲1,523	▲92
うち貸倒費用	▲546	▲484	▲31
経常利益	674	540	+38
親会社株主純利益	1,114	419	▲42

営業貸付金残高	10,746	11,094	17年度からの 連結納税制度 導入に伴う 税効果 +約500億円
利息返還損失引当金	1,216	810	
保証残高	12,117	12,481	保証事業 提携先数 (17/12月) 189社
うち地方銀行等向け	5,618	6,041	

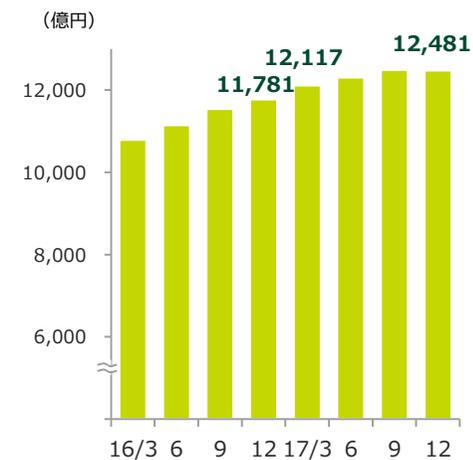
* 現地通貨建を円換算

金融・保証・海外事業

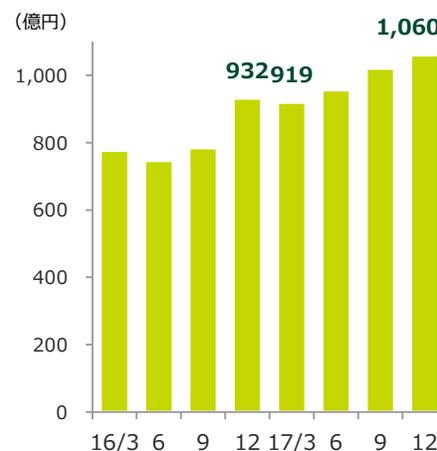
営業貸付金残高



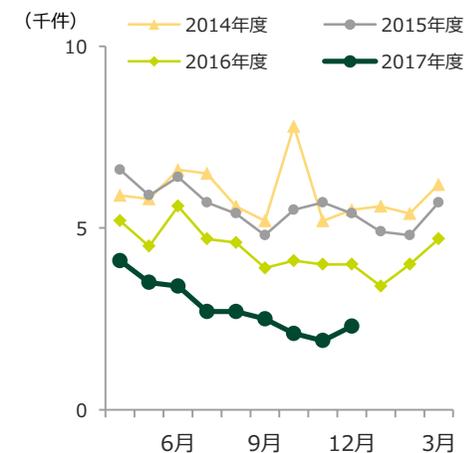
保証残高



営業貸付金残高（海外）*



利息返還請求件数



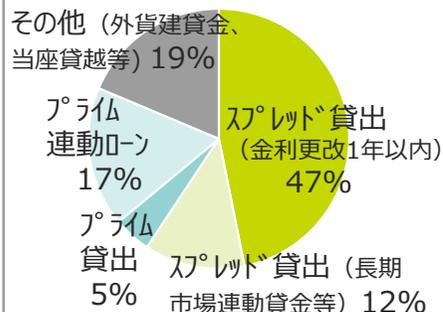
バランスシート

単体

- 日銀当座預金残高
17/12月末 37.9兆円

単体

- 国内貸出金残高 53.9兆円



● 国内顧客セグメント別*1

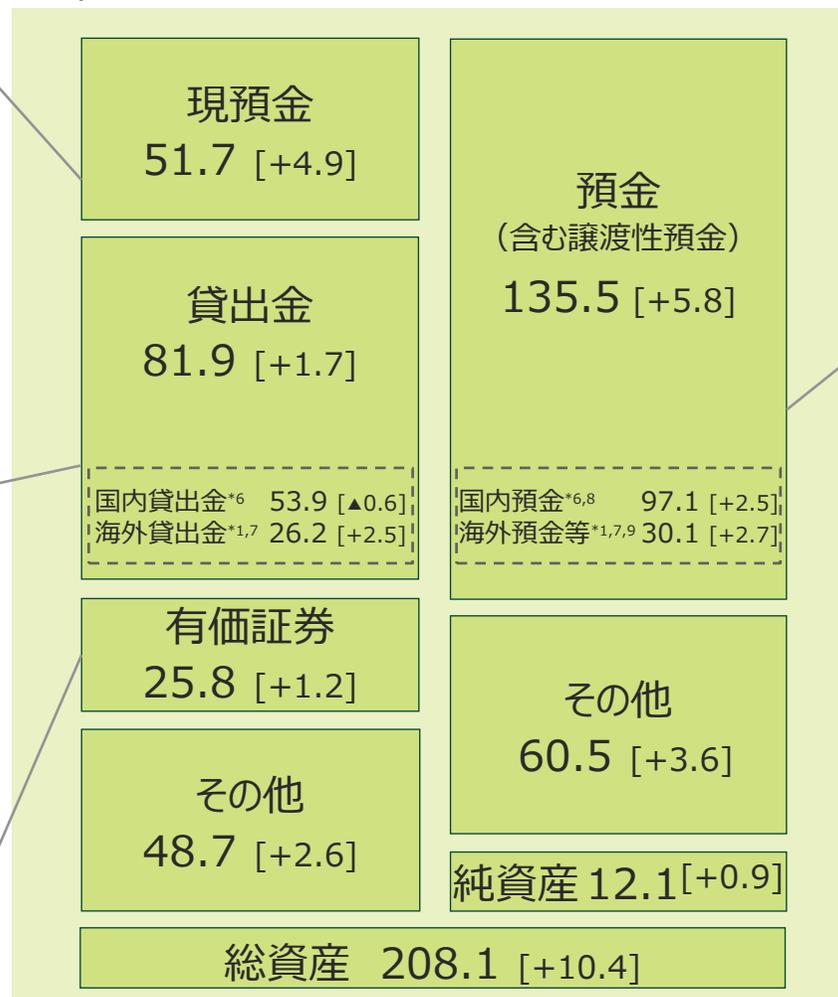
(兆円、未残)	17/12月末	17/3月末比
大企業*2	15.2	▲0.4
中堅・中小企業*3	18.0	+0.4
個人	13.7	▲0.1*4

連結

- うち株式*5 4.2兆円
- うち国債*5 8.6兆円
- うち外国債券*5 7.0兆円

連結B/S (2017/12月末) [17/3月末比]

(兆円)

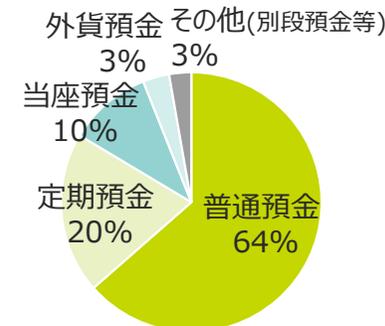


預貸率

60.4%

単体

- 国内預金残高 91.0兆円



● 顧客別推移

(兆円)	16/3	17/3	17/12
国内預金	82.1	87.7	91.0
個人	42.3	43.6	45.7
法人	39.8	44.1	45.3

*1 内部管理ベース *2 GCB本部 *3 CB本部、エリア企業の合算 *4 住宅ローン証券化分(17年度4-12月:約2,200億円)の加算調整後
*5 その他有価証券 *6 単体 *7 SMBC、欧州三井住友銀行、三井住友銀行(中国)の合算 *8 譲渡性預金を含む *9 CD・CPを含む

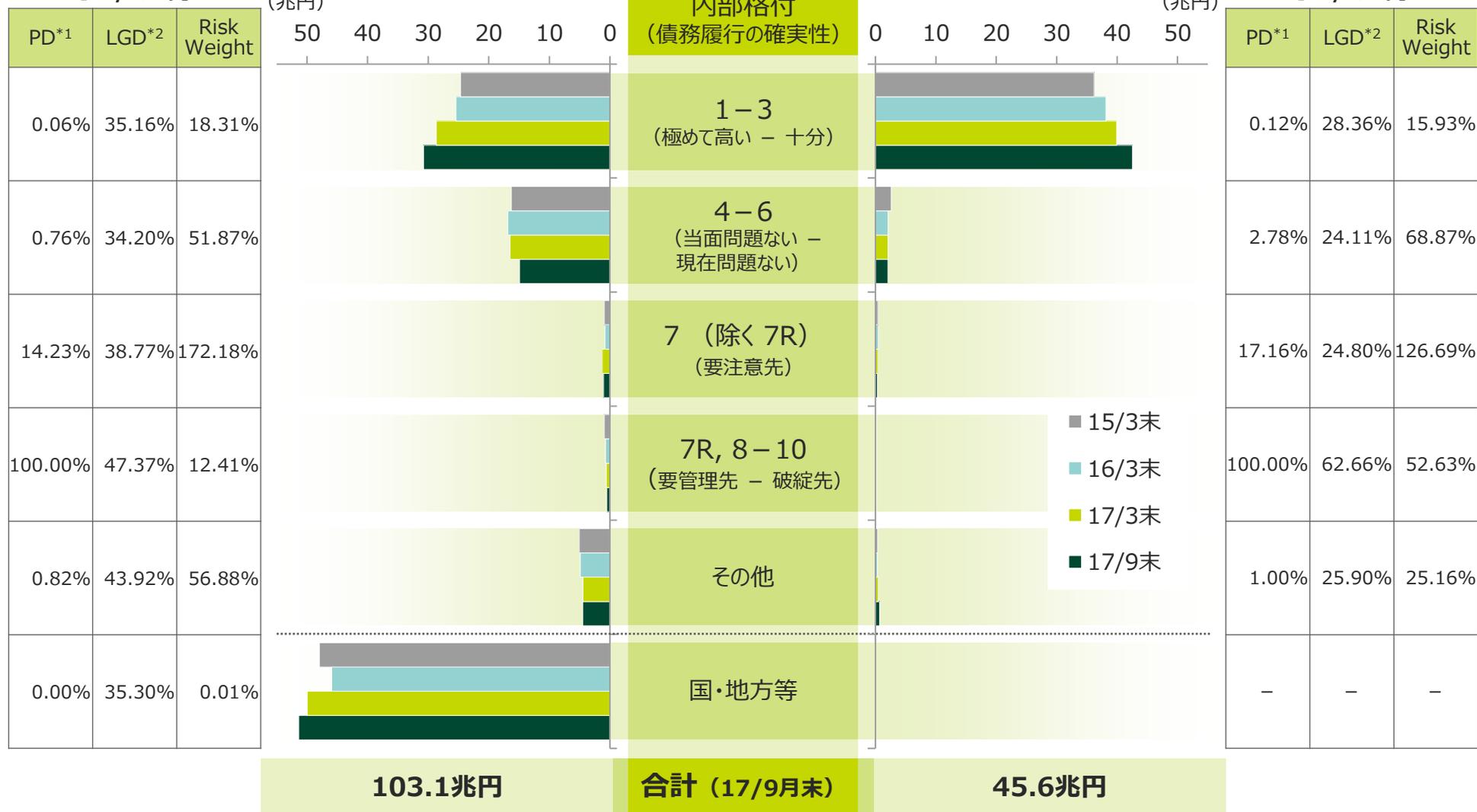
(参考) 事業法人、ソブリン、金融機関等向けエクスポージャー

国内

海外

【17/9月末】

【17/9月末】



*1 Probability of Defaultの略。一年の間に債務者がデフォルトする確率

*2 Loss Given Default の略。債務者がデフォルトした場合に想定される損失率。デフォルト時の債権額に対する回収不能額の割合

(連結)

(参考) 資源セクター関連エクスポージャー*1

		(兆円)	16/3月末	総与信対比	17/3月末	総与信対比	17/12月末	総与信対比
資源セクター関連	総合石油・ガス*2		1.5	1.3%	1.3	1.1%	1.5	1.2%
	サービス (掘削、サービス)		0.5	0.4%	0.4	0.4%	0.4	0.3%
	上流 (開発 (E&P*3))		1.7	1.4%	1.5	1.2%	1.6	1.2%
	中流 (貯蔵・輸送)		1.4	1.2%	1.4	1.1%	1.4	1.1%
	下流 (精製販売)		0.7	0.6%	0.9	0.7%	1.0	0.8%
	石油・ガス		5.8	5.0%	5.5	4.4%	5.8	4.6%
	その他資源 (鉱業)		1.1	1.0%	0.9	0.8%	0.9	0.7%
	非日系*4 (資源セクター関連)		6.9	6.0%	6.4	5.2%	6.8	5.4%
	うち上流		0.2	0.2%	0.2	0.2%	0.2	0.1%
	石油・ガス		1.6	1.4%	1.3	1.1%	1.3	1.0%
その他資源 (鉱業)		0.2	0.2%	0.2	0.2%	0.2	0.2%	
日系 (資源セクター関連)		1.8	1.6%	1.5	1.2%	1.5	1.2%	
資源セクター関連合計		8.8	7.6%	7.9	6.4%	8.3	6.6%	
石油・ガス合計		7.4	6.4%	6.8	5.5%	7.1	5.7%	
その他資源 (鉱業) 合計		1.3	1.1%	1.1	0.9%	1.2	0.9%	
非日系*4		38	32.9%	41	33.5%	44	35.0%	
日系		77	67.1%	82	66.5%	82	65.0%	
連結総与信		115	100.0%	123	100.0%	126	100.0%	

- 石油・ガスに石油化学、日系のその他資源に総合商社を含まない
- 非日系 (資源セクター関連) : コーポレートファイナンス 約70%、プロジェクトファイナンス 約30%
- 日系 (資源セクター関連) : コーポレートファイナンス100%。不良債権なし
- 資源価格変動の影響を受けないプロジェクトファイナンスを除いた17/12月末の資源セクター関連合計は7.1兆円、同EADは6.2兆円

*1 貸出金、コミットメントライン、保証取引、出資金等 *2 オイルメジャー、国営石油会社等 *3 Exploration & Production

*4 ドル建エクスポージャーを各月末TTMで円換算 (16/3月末112.62円/ドル、17/3月末112.19円/ドル、17/12月末113.00円/ドル)